

C-80 衣服の需要予測について

日本女大家政 ○渡辺聰子 樋口ゆき子

目的：近年、消費者のニーズは多様化、個性化、高度化しており、また一方、衣服の需要は飽和状態にある。従って、衣服の需要予測も従来のマクロの予測手法では、適合しなくなっている。そこで、これからの衣服の市場の動向を的確に予測する新しい手法の開発を試みた。

方法：従来のマクロ的予測手法ではなく、ミクロからアプローチし、マクロの市場動向を推測する方法の開発を試みた。すなわち、その方法は、まず、消費者を衣服に関する意識からタイプ分けし、次いで、各タイプの代表モニターについて、その衣服着用パターンを分析し、その着用パターンの分析結果から、各タイプの将来の衣服着用傾向を類推し、衣服の需要を予測するのである。

結果：衣服の着用パターン分析により、衣服のアイテムについて、将来の衣服着用傾向を類推することができた。この研究で用いた着用パターン分析手法が衣服の需要予測になることがわかった。